

第10回生産マイスター検定 3級の結果振り返りと現場の活動から

生産マイスター検定委員 石山 真実

■ 第10回検定の結果を振り返る

3級の結果を振り返りますと、「コスト」と「納期・生産管理」の得点率が60%程度と低くなっています(コスト:61.2%、納期・生産管理:63.8%)。他の単位が70%前後であることと比較しても、「コスト」と「納期・生産管理」単位の理解をさらに深めていただきたいと思います。

「コスト」では、各種分析手法や管理手法に使われる計算問題が出題されますが、誤答が多く見られます。計算式は暗記するのではなく、「なぜそのように計算するのか」の意味を再度理解するように努めてください。計算式の意味を理解することで、分析手法や管理手法の理解がさらに深まります。

「納期・生産管理」では、皆さんの現場の日程計画がどのようにして作られていくのか、そしてそれに伴う部品の手配、生産進捗管理について出題されます。ただしこれらは、皆さんが直接関わっていない内容もあり、理解しにくいところも多いと思います。しかし、これらを理解することで、納期遵守の意味や関連部門の動きがわかるようになります。そこから、納期意識をさらに向上していただきたいと思います。

■ 現場の活動から

私がコンサルティングに入っているA社では、「決め打ち型の改善(全体を見ずに、目に付いた改善を目に付いた順に改善する)」からの脱却をめざし、現場リーダーはまず現状分析の手法(タイムスタディー、ワークサンプリング、編成効率など)を学びました。

そして学んだ手法をもとに、現場全体を俯瞰的にとらえ、ロスを定量的に把握し、改善すべき項目の優先順位を決め、改善活動を進めています。

皆さんの改善活動はいかがでしょう。ぜひ、3級で学んだ知識を活用して、現場を俯瞰的に見て改善活動を進めていただけたらと思います。

以上